

勤勉、国民の中堅、儀表として郷党
州閭（きょうとうしゅうりよ）の間に
尊敬せらるる人にして、始めて戦
場の勇者たり得べし。これを今日の
軍隊教育の根本主義となす」

こうして陸軍は、ただ若者を鍛錬
して兵員にするだけではなく、中隊
は家族であり、教育の場であるとい
うことを前面に押し出していきま
す。また、下士官を庇護し、権威を
与えようとする施策も行われます。

今回は、あまり衛生部の内容に触
れることができませんでしたが、次
回以降の前提となる話題ばかりで
す。今回は世界大戦と学制改革など
について聞いていただきますしよ。

楓之典君乳母草子外伝

続猫様詣まうで——豪徳寺1

中條 恵子 陸自85

都人もすなる寺社参りを再び乳母
もせむとてかちより詣けり

秋のお彼岸の頃、猫様と楓之典君
の父上に導かれ、招き猫縁起でこち
らも名高い豪徳寺を参拝して参りま
した。



大谿山豪徳寺

所在地…〒154-0021 東京都世田谷区
豪徳寺2-24-7

○ 御由緒

豪徳寺周辺は、武蔵吉良氏の居城・
世田谷城の一部であったようです。
文明12（1480）年に時の城主・
吉良政忠が伯母である弘徳院のため
に建立した「弘徳院」が豪徳寺の前
身ですが、豊臣秀吉の小田原征伐に
より天正18（1590）年に世田谷
城は廃城となつてしまいました。

その後、世田谷が彦根藩所領地と
なり、寛永10（1633）年に「弘
徳院」は藩主・井伊家の江戸菩提寺
となります。万治2（1659）
年には2代藩主井伊直孝の法号「久

昌院殿豪徳天英大居士」から豪徳寺と改称され、大名家墓所に相応しい伽藍を整えてその形態を保存し、周辺では最大規模の国指定史跡となっています。



○ 宗派

曹洞宗

「弘徳院」の建立当初は臨済宗でしたが、天正12（1584）年に高輪泉岳寺の初世宗関和尚が改宗して曹洞宗の寺院となりました。

○ 井伊直孝殿を猫招き

豪徳寺が未だ弘徳院と称する小さな寺であった頃、天極秀道和尚は1匹の猫を可愛がっておりました。とある夏の日の午後、門の辺りが騒がしいので和尚が出てみると、鷹狩りの帰りと見られるお殿様一行でした。「寺の前を通りかかったところ、

門前の猫が手を挙げてしきりに招く

ので立ち寄ることになった。しばし休憩させてもらいたい」と仰います。和尚が一同を奥の間に招き入れると、空は一転かき曇り激しい雷鳴とともに夕立が降り始めました。ひとときを過ごした帰り際、彦根城主・井伊直孝の一行であることが明かされ、直孝は「猫に招き入れられて雨を凌ぎ、法談を聞くことができたのも、ひとえに仏の因果に相違ない」とその幸運を喜び、豪徳寺を後にしました。



直孝の支援を受けて豪徳寺は再興します。直孝は死後高徳院に葬られ、直孝の法号を取って寺名を豪徳寺と改められたことは前述いたしました。井伊家の菩提寺となつて田畑の寄進を受け、豪徳寺の伽藍も整えられていきました。

○ まねぎねこ 招福猫児

和尚は直孝を招いた猫の墓を建ててその冥福を祈ったということですから。直孝の墓の裏手にある木立に祠があり、それが猫塚・猫の墓だつたとされています。

さらに後世、この福を招いた猫の姿を模して猫の人形を作り「招福猫児（まねぎねこ）」と称して祀つたところ吉運を呼び、家内安全・商売繁盛・開運招福に御利益があると世に知られるようになったといえます。昭和18（1943）年には堂内に「招福観音菩薩立像」を安置する招福殿が建立（令和2年改修）され、招福殿の横には奉納された数多の招福猫児が所狭しと並び、多くの参拝者が訪れています。

また、平成18（2006）年には猫の彫り物が施された高さ22・5メートルの三重塔が新たに落慶しました。塔には猫の他にも十二支が飾



られ、釈迦如来像、迦葉尊者像、阿難尊者像、招福猫児観音像が安置されています。

○ 大伽藍と文化財

豪徳寺は、招福殿、三重塔以外にも、彦根藩主菩提寺に相応しい伽藍が整い、文化財に指定されている建造物もありますので、いくつかご紹介いたしましょう。

・ 仏殿

井伊直孝の娘・掃雲院が直孝の菩提を弔うために延宝5（1677）年に建立しました。正面に篆額「三世佛」が掲げられ、現在・過去・未来の三世を意味する諸仏、阿弥陀如来坐像・釈迦如来坐像・弥勒菩薩坐像などが安置されています。

平成2（1990）年、世田谷区指定有形文化財指定

・ 梵鐘

延宝7（1679）年、藤原正次（釜屋六右衛門）によって鑄造されました。世田谷区内最古の梵鐘で美術的にも高く評価されています。

平成12（2000）年、世田谷区指定有形文化財指定

・ 法堂

昭和42（1967）年に造営されました。

聖観世音菩薩立像、文殊菩薩坐像、普賢菩薩座像、地藏菩薩立像が安置され、寺宝の「井伊直弼肖像画（井伊直安作）」も飾られています。



並んでいます。平成20（2008）年には、清涼寺（滋賀県彦根市）・永源寺（東近江市）の墓所と共に国史跡に指定されています。幕末の大老井伊直弼の墓は、東京都指定の史跡です。

○ 乳母の泣き



○ 井伊家墓所と井伊直弼の墓

境内の一角を占める彦根藩主井伊家墓所には、幕末の大老13代直弼の墓、豪徳寺中興開基2代直孝の墓をはじめ、歴代藩主や正室たちの墓が

猫様に引かれてお江戸世田谷まで詣でてみれば：猫観音様を拝し、三重塔に刻まれた猫様や奉納された数多の招福猫児を愛で、井伊家墓所を拝見して、お彼岸にご先祖様への感謝も新たにいたしました。乳母の里のお寺様は豪徳寺と同じ曹洞宗の高龍寺でございます。またまた何かのご縁を感じつつ、楓之典君の待つ邸を目指して帰途に着いたのでございました。

令和八年、楓之典君とともに新年を寿ぎ、皆様の招福をご祈念申し上げます。